

日本ジオパークに再認定されました！

2016年12月9日に開催された日本ジオパーク委員会で、洞爺湖有珠山ジオパークの日本ジオパーク再認定が決定しました。

今回の審査では、「縄文遺跡や展示施設・道の駅などと連携し、PRや教育活動が行われている」「ジオパークを通じた住民の防災意識の向上」などが高く評価されました。

この結果を受け、当地域ではこれからも「大地の特徴」を教育や観光に活用するジオパークの活動を続けていきます。



プレミアムジオツアー（壮瞥町）



虻田中学校防災教育（洞爺湖町）

また今年は、ユネスコ世界ジオパークの再認定審査が予定されています。ジオパークがユネスコの正式事業になってから初めての審査です。地形や地質等の要素と共に、ジオパークの豊かな恵み（農水産物他）と住民の皆さまの関わり、教育・ガイド活動の充実、観光振興への波及効果なども審査の対象になっています。

ジオパークを構成する伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町が一体となった対応が必要となりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

洞爺湖有珠山ジオパーク 今までの認定状況

洞爺湖有珠山は、「日本」と「世界」の2つの認定を受けているから、再審査もそれぞれ4年に1回ずつ受けているんだね。



2008（H20）年10月 12月	日本ジオパークになるための認定審査を受ける。 国内最初の日本ジオパークに認定される。 洞爺湖有珠山の他、「アポイ岳」「糸魚川」「南アルプス」「山陰海岸」「室戸」「島原半島」も認定される。
2009（H21）年7月 8月	世界ジオパークになるための認定審査を受ける。 国内最初の世界ジオパークに認定される。 洞爺湖有珠山の他、「糸魚川」「島原半島」も認定される。
2012（H24）年11月 2013（H25）年1月	日本ジオパークの認定から4年たち、再認定審査を受ける。 日本ジオパークに再認定される。
7月 9月	世界ジオパークの再認定審査を受ける。 世界ジオパークに再認定される。
2015（H27）年11月	世界ジオパークの活動が「ユネスコ」の正式事業になる。
2016（H28）年10月 12月	日本ジオパークの再認定審査を受ける。 日本ジオパークに再認定される。
2017（H29）年5～8月	ユネスコ世界ジオパークの再認定審査（予定）